

会議記録

- 会議名 丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会
第21回 吉見・鴨庄・三輪地域部会
- 日時 令和7年3月4日（火）19:30～20:35
- 場所 ライフピアいちじま 研修室
- 出席者 委員：坂谷 高義、木寺 章、伏田 尚徳、由良 英樹、高見 忠寿、
足立 幸司、吉井 友章、高橋 麻美、岸本 菜実、内田 順子、
芦田 繁昭、田野 悟
欠席委員：今上 康代
教育委員会：片山教育長、足立部長、小森参事、足立課長、足立副課長兼係長、
荻野係長、大垣主幹、河南主査、梅田主事
ふるさと定住促進課：藤浦課長、足立係長

1 報告・協議事項

（1）路線バスを活用した通学支援について（現在の予定）

資料2 市島地域内の路線バス運行について、ふるさと定住促進課より説明した。令和8年4月の本格運行を見据えて、現在、社会実験から実証実験に移行して引き続き路線バスを運行しており、4月以降についても、バスの利用に向けた課題検証等のため、引き続きバスを運行する。美和地区自治振興会及び三輪小学校 PTA からの要望により、登校時も下校時も同じルートで運行する予定であること、東勅使のバス停については美和地区自治振興会と調整中であることなどを説明した。

<委員の質疑>

委員：市島小学校からの帰りの便について、月曜日と水曜日は一斉下校で午後1便の乗車となるが、その時は東勅使バス停で降りることができるのかどうか。

⇒ふるさと定住促進課：路線バスであることからダイヤとしては1便、2便という形で組み込む。例え2便目の乗車がなかったとしても運行する。曜日に関わらず運行する。

委員：下校のため臨時便をお願いすることがあると思う。そのときは東勅使バス停に停車するのか。

⇒ふるさと定住促進課：第2便目のバスは市島から黒井駅に運行することになるので、その時間帯より前の運行、例えば午前中までの授業であれば東勅使バス停に止まる。

委員：アフタースクールに行く子どももいるが、一斉下校のときに、子どもはバスに全員乗れるか。

⇒ふるさと定住促進課：大型バスの乗車定員は立ち席も含めると、80名弱乗れるので、全員乗れる。アフタースクールに行く子どももいることを踏まえると、充分可能だと考えている。

委員：小学校までの運行ルートとして、藤野、市島駅、市島郵便局、市島複合施設のバス停を必ず経由することになるのか。

⇒ふるさと定住促進課：第1便目は経由する。東勅使や藤野のバス停については現在調整

中である。第2便目は、回送の後で市島駅方面を經由せず直行で学校に行くルートになる

⇒委員：こどもをたくさん乗せて学校に来ることになるので、安全性も含めて今後協議してもらえたらと思う。

⇒ふるさと定住促進課：市島小学校の通学に合わせた形としているが、市島駅まで地域の方が乗車されるといったケースも想定したルートである。

※資料2について一部文言を訂正（※ホームページ掲載資料は訂正済）

- ・ 1ページ目、(2) 運行ルートの午前便のライフピアいちじま到着時刻を訂正

訂正前：7:42 ライフピアいちじま着

訂正後：7:59 ライフピアいちじま着

- ・ 2ページ目、(1) 美和地区⇔市島小学校の運行ルートの文言を訂正

訂正前：オ 午前第1便は下級生下校・・・

訂正後：オ 午後第1便は下級生下校・・・

(2) 通学路安全対策の実施について（現在の予定）

資料3 美和地区の通学路安全対策の実施について、事務局より説明した。

<委員の質疑>

委員：勅使バス停の位置図（資料3の2ページの最下部写真）が実際にはもう少し右側ではないか。

⇒ふるさと定住促進課：バス停のポイントの位置が少しずれている。（掲載資料は修正）

※資料3の2ページ目、勅使バス停の位置図（丸印のポイント）が若干ずれていたため、訂正（※ホームページ掲載資料は訂正済）

(3) 吉見・三輪統合小学校増築等工事について

資料4 工事図面について、事務局より説明した。増築等工事は7月末頃までを予定している。既存校舎棟の改修工事についても、別途今後実施する。

<委員の質疑>

委員：増築棟の教室について空調設備は整備されると聞いているが断熱対策はどうか。

⇒事務局：空調設備を整備する。また、窓は複層ガラスとし、壁についても遮熱用に塗装する。

委員：工事期間中は学校の行事もあると思うが、そのあたりは考慮されるのか。

⇒事務局：学校側と相談しながら行う。増築等工事は1学期中に終わるように計画している。

(4) その他

事務局より、参考資料 統合に関する主な協議経過、今後の事務スケジュールを説明した。

<今後の事務スケジュール>

- ・次回会議の開催予定はないが、令和7年度統合準備会委員の選出を依頼している。
- ・統合に向けた事務として、市島小学校校旗の製作や三輪小学校から吉見小学校への引越業務を予定、小学校増築等及び改修工事を行う。
- ・美和地区児童の通学支援及び通学路の安全対策について、引き続き関係者と調整を図りつつ実施する。
- ・閉校式については、令和8年3月28日(土)に開催予定で、周知は防災行政無線等を行う予定している。式典当日は自治振興会にて閉校記念イベントが実施される予定である。4月に開校式を予定している。

今回が最後の地域部会となる予定なので、委員一人ひとりから意見、感想を述べられた。

<委員の意見>

委員：令和2年度から委員としてお世話になった。美和地区の皆さんは熱心に取り組まれていて安心している。統合後の令和8年度もよろしく願いいたします。

委員：長きにわたり、学校や子どもたちのためにご尽力いただきありがとうございます。金管楽器も十分に整備され、校舎も十分に整備してくれようとしていて安心している。学校現場にとっては、これからが大変で、統合してからの数年間が非常に大事だと思うので、その間もずっと地域の皆さんで見守ってほしい。令和8年3月3日(火)、4日(水)、5日(木)がプレ登校なので、市島小学校に向けてスムーズに行くようお願いしたい。

委員：市島地域のこれからの教育を考える会の時から参加した。あの頃はまだ少し時期が早いということで一時的に協議が中断したときもあったが、改めて統合準備委員会に関わらせてもらい、結論が出たことを大変嬉しく思う。アフタースクールについても1年かけて円滑に統合できるよう進めていきたい。今後も協力よろしくお願いします。

委員：自分のこどもは鴨庄小学校を卒業して、今年度から大学生になる。今度吉見小学校に入学するこどももいるのでアフタースクールの説明会に行ってきたが、素晴らしい施設で驚いた。通学はスクールバスになるが、こどもはとても楽しみにしている。保護者としてこどもを安心して通わすことができるというのは、皆さんが頑張ってくれた成果だと思う。

委員：長い間携わった。鴨庄小が統合して数年経つ。そういう大きな時代の流れ、歴史の中で、皆さんとこうして大切な会議ができたことを大変嬉しく思う。三輪小学校との統合もいよいよ迫ってきたわけだが、皆さんと一緒にこどもも頑張ると思う。皆さんのおかげで物事が進んでいった。ありがとうございました。

委員：2年間参加させてもらって、いよいよ統合という段階。こどもたち、先生の負担も出てくると思うので、できるだけ丁寧に進めてもらえたらありがたい。

委員：市役所にはご無理を申し上げてきたが、親身に対応いただいた。こどもが笑顔で学校に行けることが一番なので、今後も引き続きお願いします。

委員：振り返るといろんな協議があって大変だったというのが率直な感想。こどもたちが中心となるので、1年かけてスムーズに統合できるよう、できることをしていきたい。

委員：統合、バス通学の件でいろいろあった。こどもの笑顔が一番で、こどもが安全

に元気に登校してもらい、その一点だけで集まって話をさせていただいたと思う。長い間お疲れ様でした。今後もよろしくお願いします。

委員：2年間携わった。美和地区の方々が真摯に小学校の問題について語り合っ、こどもにとって良い環境に向けて話し合われているのがひしひしと伝わった。ここにいる皆さんが、こどもたちにとって一番良い方法は何かということをお話合っ、こども園との連携が大切ということになった。また、決まったことが最終ではなくて、今後もより良い方法を考えていきたいと思いますと伝えてもらっているのが嬉しい。今後もよろしくお願いします。

委員：皆さんには感謝の一言に尽きる。これからの教育を考える会から関わったが、皆さんと一緒にあって、かわいいこどもたちのことを思いながら、常にこどものことを考えながら進めていけたことに感謝している。ありがとうございました。

委員：いろいろな協議事項があり、市からも多くの資料を準備してもらった。統合に関する保護者のアンケートをとって統合を検討していくなかで、小規模の教育も良いが、同級生の多いクラスの中なかでこどもには多様性を学んでほしいという保護者の意見が圧倒的に多かった。1校統合も難しいというなかで、段階的な統合が決まって、まずは鴨庄小学校と吉見小学校が一緒になって、来年、三輪小学校と一緒になる。こども園単位の同じメンバーが同じ学校に進むということでストレスなく進学できると思う。本当にいろいろあったが、これからの大事だと思う。数年後に、3つの地域が一緒になったことをこどもたちが良かったと感じてくれたら本当に嬉しい。工事があつたり、こどもの人数も増えるので、先生の負担も増えると思うがよろしくお願いします。

2 次回日程

開催の予定なし。

片山教育長から委員の皆さんにお礼の言葉を申し上げた。

<片山教育長より>

先ほど、委員の皆様一人ひとりからお言葉をいただき、非常に重くずっしりとした想いで聴かせていただきました。これまでの統合もそうでしたが、統合された後のこれからの大事だということを切に感じています。

通学支援や校舎工事についても始めてみたら何が起こるか分からないということもあると思うので、完璧に全てできるということではありませんが、こどもたちを真ん中にして、こどもが主語になるような学校づくりが大切と常々思っています。

平成24年に市島地域の自治振興会長、保育園長、認定こども園長、小・中学校長、保育園保護者、認定こども園保護者、小中学校PTAから選出された委員を構成員とします、「市島地域のこれからの教育を考える会」が発足されました。平成30年2月まで計19回の協議を行い、3月に「市島地域におけるより良い教育環境の整備等についての提言」をいただきましたが、「市島地域のこれからの教育を考えるフォーラム」や保護者を対象とした意見交換会では賛否両論となりました。

統合は非常に難しい課題ですが、そういったなかで熱心にご協議いただき、先ほどの委員の皆さんの意見にもあつたように、一歩ずつ一歩ずつ課題を解決してもらって、このような結果になったと思います。本当に心よりお礼申し上げます。先日、ある大学の先生の話をお聞きしました。こどもを愛してください、先生方はこどもを力いっぱい愛してくださいという強いメッセージをいただきました。教師として、教育委員会として、これから先

も子どもを愛していきたいと思います。

今回は路線バスを活用した通学支援ということで、路線バスで通学している和田地区の生徒を見ていると、たくましくなったと思います。最初はICOCAの使い方も生徒は分からなかったようですが、今はスムーズに利用しています。社会参加を徐々にしていくことはどんどんたくましくなっていくように思います。

バス停の話もありましたが、安全に安心して通学できるよう進めていきたいと思います。大変長い間、皆さんにはご協議いただいたことを心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

3 閉会

委員：大変長い間協議いただき、この日を迎えている。市島地域にとってのこどもの教育環境を整えるということについて、皆さんに協力いただいて嬉しく思う。こどもに負けないよう、それぞれの地域の交流が大事になってくると思うので、委員の皆さんもよろしく願いいたします。ますます期待がかかってくると思うが、教育委員会も今後もお願いいたします。